

# 「政策科学専修」第10回シンポジウム

# 世界大不況と日本の行方



▲ パネルディスカッションで左から宮本教授、浜氏、永岡氏、五十嵐氏、田中教授

大学院経済学研究科 活動は「ヒト、モノ、カネ」の正三角形で構成される。この21世紀型世界大不況を乗り越えることには「ヒト」の存在を復権させることが今後の課題と語った。また「金融激震は通貨に始まった」とし、基軸通貨ドルが終焉を迎えるという見方を示した。

## 壊れた「ヒト・モノ・カネ」正三角形

## 「ヒト」の復権が急務



基調講演 浜 矩子氏  
同志社大学大学院 経済学研究科教授

「ヒト」の部分を強化を考へる意味で、もう一つの三角形のイメージを提示したい。それは「地球、国家、地域」すなわち「グローバル、ナショナル、ローカル」の三つの組み合わせだ。同じ強さをもって組み合わせるとき、地球時代の共存共栄の姿が現れる。

## 金融激震は通貨に始まった

今日の経済活動は「ヒト、モノ、カネ」の三つの要素による三角形で構成されている。その3辺の長さが等しく、同じ強さのベクトルである黄金の正三角形が成り立つこと

「ヒト、モノ、カネ」の正三角形で注目すべきテーマはカネである。サブプライムローン問題とその後、米国の経済成長戦略をたてた。その結果、米国経済は超インフレとなり、高金利化に対応するために、米国の金利の自由化に踏み切った。金利の自由化により「蟻の一穴」があった。金融の自由化、グローバル化、IT化、高過ぎ、モノの買い過ぎ、使い過ぎ、モノの買い過ぎ、双子の赤字、米国にカネが集まり過ぎて、そのカネを高い利回りで見せつけるというプロセスをたどった。

「ヒト」の復権が急務である。この21世紀型世界大不況を乗り越えることには「ヒト」の存在を復権させることが今後の課題と語った。また「金融激震は通貨に始まった」とし、基軸通貨ドルが終焉を迎えるという見方を示した。

「ヒト」の復権が急務である。この21世紀型世界大不況を乗り越えることには「ヒト」の存在を復権させることが今後の課題と語った。また「金融激震は通貨に始まった」とし、基軸通貨ドルが終焉を迎えるという見方を示した。

製造業の競争力、雇用問題、マクロ経済などの側面から、日本経済の「今後」が幅広く論じられた。パネリストは▽浜矩子氏▽永岡文庸▽法政大学経済学部教授▽五十嵐敬喜▽三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社調査部長▽田中隆之▽同志社大学経済学部教授

今回のような世界大不況の再現を阻むには、世界、なにかなく米国が、最終的にドルは基軸通貨ではないという認識を持たなければならぬ。今年9月、ピッツバーグでのG20金融サミットでは、資金の偏在、富の偏在、借金の偏在という不均衡問題を解決しないと本質的な解消にならないという発想がようやく出てきた。

「ヒト」の復権が急務である。この21世紀型世界大不況を乗り越えることには「ヒト」の存在を復権させることが今後の課題と語った。また「金融激震は通貨に始まった」とし、基軸通貨ドルが終焉を迎えるという見方を示した。

「ヒト」の復権が急務である。この21世紀型世界大不況を乗り越えることには「ヒト」の存在を復権させることが今後の課題と語った。また「金融激震は通貨に始まった」とし、基軸通貨ドルが終焉を迎えるという見方を示した。

「ヒト」の復権が急務である。この21世紀型世界大不況を乗り越えることには「ヒト」の存在を復権させることが今後の課題と語った。また「金融激震は通貨に始まった」とし、基軸通貨ドルが終焉を迎えるという見方を示した。

「ヒト」の復権が急務である。この21世紀型世界大不況を乗り越えることには「ヒト」の存在を復権させることが今後の課題と語った。また「金融激震は通貨に始まった」とし、基軸通貨ドルが終焉を迎えるという見方を示した。

# 会計学研究所特別講演会

## 不況に克つ 経営変革とは



講演は、来年4月に刊行予定の門田教授の著書『不況に克つ経営変革』をもとに、コア事業の追求とM&A、グループ再編と事業選別、全社的コスト削減と労務対策、現場改善の徹底などをテーマにした実際の企業を取り扱った企業小説による実践的な内容であった。最後に、不況を克服する経営変革の処方箋について、「経営危機に際して大事なのは、自己の強みを見いだして、市場環境の中にあるニーズやチャンスに結びつけることであり、強みの総力を結集して難局にあたるべきである」と結んだ。

2010年4月に人間科学部(心理学科・社会学科)が新設されるのを機に、生田キャンパス11号館に心理教育相談室が移転し、充実した施設に生まれ変わった(10月号既報)。

新しい心理教育相談室を見学する方たち

心理教育相談室の見学会と記念講演会が10月10日に行われ、藤岡新治心理教育相談室長(商学部教授)が「心理臨床と心理査定」をテーマに講演。心理査定をテーマに講演。心理査定をテーマに講演。心理査定をテーマに講演。



▲ 「心理臨床のこれから」と題して講演した鶴教授



藤岡 新治室長

藤岡新治心理教育相談室長(商学部教授)が「心理臨床と心理査定」をテーマに講演。心理査定をテーマに講演。心理査定をテーマに講演。